

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 住本あさひ
所属 (School) 地域保健学域
総合リハビリテーション学類
学年 (Grade) 1年
留学先 (Name of overseas institution)
イギリス カンタベリー
留学期間 (study abroad period)
2019/2/16~2019/3/10
記入日 (Date) 2019/3/23

留学レポート Study Abroad Report

高校生のころから海外留学に興味を持っていましたが、部活に追われ時間が取れなかったので大学生の時間があるうちに行こうと決めていました。ただ今回のイギリス英語研修が私にとって初めての海外であったため、参加を申し込むかどうかの段階でかなり悩みました。英語は全く得意ではないし、初海外がイギリスはハードルが高いのではないかと不安でいっぱいでしたが、学部のカリキュラム的に上回生になってからの海外留学は厳しそうだったので参加を決めました。

学校のクラスにはいろんな国の方がいて、一緒に授業を受けたり話し合いをしたり、またプレゼンテーションをおこなったりしてたくさんコミュニケーションを取りました。一つの話でも、日本人同士だと出てこないような新鮮な意見が多く、大変貴重な経験になりました。先生方もとても優しく、英語が片言の私の話や意見もせかさずずっと聞いて下さりました。話している中で文法を誤用していたら、「私たちが言ってあげなきゃ誰が直してくれるの。」といつも正しい文法や話し方、マナーを教えていただきました。間違えても直してもらえると安心感の下で、英語が苦手な私たちも話しやすい環境を作ってもらいました。三週間授業を受けてまず一番に実感したことは、本場に行かないと絶対に英語は話せるようにならないなということです。プリントで出されたリーディング問題や文法問題はある程度こなせるし、周りを見ても日本人の文法力は高いんだなと度々感じました。私が苦手としていたリスニングも、一週間ほど英語に囲まれると少しずつ耳が慣れてくるもので、だんだんと相手の言っていることは伝わってくるようになりました。ただ話しかけられたときにとっさに返したり、公共の場でしっかり会話しなければならない状況で話すことがとても難しく苦戦しました。



ホストマザーはいつも優しく、本当のお母さんのように接してくれました。夜少し遅くなるときも晩御飯を置いてくれていたり、駅まで送ってくれたり、たくさんお世話になりました。毎日帰ると、その日あったことや授業で習ったこと、放課後何をして遊んでいたかなどいろんな話題をふってくれて、かなりコミュニケーションを取ることが出来ました。私以外にも、イタリア人の子が週替わりでやってきてたくさん話しかけてくれて仲良くなったので、家に帰ってからの時間もすごく楽しく、また何か国かの方と長時間話すため、すごく勉強にもなりました。イギリスは硬水ですが水道水も飲めるし、シャワールームは少し日本より狭いですが、他に家で特に不自由する面はなく、とても快適に過ごせる有り難い環境でした。またイギリス人は基本的に22時就寝 7時起床なので、生活習慣を直されて健康的に過ごすことが出来ました。実際に食事マナーなどを目の前で見ることができるし、日本人がおらずずっと英語に囲まれているので、寮やホテルに比べて帰ってから学ぶことが多いのがホームステイの魅力だと思います。

休みの日は、府大生の人達といろんなところへ観光に行きました。イギリスでは金曜日の午後から街に人が増え始めて、週末がくるのを皆で楽しむような感じでした。週末が来るたびに様々な場所へ行きましたが、どこを歩いてもどこの写真を撮っても画になるくらい本当に街並みがきれいでずっと感動しっぱなしでした。ロンドンの公共交通機関の使い方は難しかったですが、全くわからない土地で起こったことを日本人だけで乗り越える海外ならではの経験を積むことができました。他にもハリーポッターやシャーロックホームズの舞台となった土地に行ったり、本場のアフタヌーンティーを楽しんだり、かなり充実した週末を送りました。事前に計画しておいたとおり、イギリスで行ってみたかった名所はすべて行けて、とても満足でした。

イギリスのごはんについては、あまり美味しくないとよく聞いていたため不安でしたが、全くそんなことはなかったです。イギリスの方はいろんな国の料理を食べるし、ハンバーガーなど日本でも日常的に食べられている料理も数多くあり、おいしくいただきました。やはりボリュームはありましたが、初めのころにちゃんと「もうお腹いっぱい」と伝えればホストマザーもわかってくれるので特に問題はなかったです。イギリスは紅茶が特に有名なので、朝ごはんや食後、学校の休憩時間などいつでも紅茶を飲める機会が一日の中で何度もあり、とても美味しいのですごく幸せでした。

普段の学校生活は、毎朝バスで通学してテストで分けられたクラスで授業を受け、放課後は府大生やクラスメイト達と遊びに行き、19 時ごろに帰宅するという感じでした。家庭によって、バス通学か徒歩かはわかれますが、初めのころはバスの使い方に慣れなくて遅刻してしまったりもしました。でも慣れてくるといろんな景色を見ることができたりするので、得した気分になれました。授業内容は、話し合いや問題形式など様々でしたが、自分から発信していかなばならない授業が多かったです。先生に当てられることもありますが、基本的には自分から「私はこう思う。」と述べていきます。とにかく失敗してもいいから、意見を言うこと必ず何かしらの意見がまた返ってくるので、そこから考察できることも多くあって、意見を述べる大切さを実感しました。宿題も出ましたが、家でホストマザーも教えてもらったりしながらこなし、それがコミュニケーションにもなっていて楽しかったです。

イギリスで学んだこととして、まず、自分の気持ちはきちんと伝えるということが挙げられます。日本人がよく言う「察する」とか「雰囲気」などの文化は海外には通用せず、自分はどうなのか、今どうしたいのか等、しっかりと伝えなければならないところに文化の違いを感じました。例えば週末ずっと一緒に行動していたメンバーで先生と話していたときに、先生から「週末どうだった？」と聞かれたら、日本人同士だと一人の子が「〇〇に行って、〇〇をしてすごく楽しかった」と答え、他のメンバーはただ頷いていたりしがちですが、海外の方は必ず一人一人に「あなたはどうだったの？」と意見を求めます。これは家でホストマザーと話しているときも同じで、子どもでも自分の感じた事は相手に伝えるのでとても刺激的でした。また、似ていることにはなりますが、愛情表現や感謝の気持ちをすごくまっすぐに伝える方が多く、素敵だなと思いました。遠慮がちな日本人に対して真っ直ぐ意見を伝えるので、授業の話し合いなどではなかなか大変では



ありましたが、日本にはない文化やマナーに囲まれて過ごすのは毎日新鮮でとても楽しかったです。イギリスに限らず海外の方はとても気さくで優しく、すぐになかよくしてくれるので、日本にもこんな風潮があったらいいのになと何度も思いました。

イギリスでの三週間は本当に数え切れないほどの経験を積むことができ、人生で一番濃い三週間になりました。いろんな文化に触れて歴史を感じて、絶対に日本では経験出来ないことばかりで一回生の時間があるうちに参加できて良かったと心から思っています。海外に三週間滞在するというなかなかできない体験をさせてもらえて、日本にいただけでは絶対に知らなかったマナーや知識、文化などを身をもって実感し、本当に本当に貴重な毎日を過ごすことができました。今回の語学研修で学んだ多くのことを日本できちんと生かせるようにこれから精進していきたいと思います。